

—住学協同への実験—

筑豊ゼミ研究会報 9月号

NPO 法人住学協同機構筑豊地域づくりセンター・筑豊ゼミ研究会報第 14 号 2014 年 9 月 10 日

9 月例会は 9 月 17 日(水)午後 7 時～9 時

[ひきこもり研究会：9 月 18 日(木)午後 7 時～8 時 45 分 飯塚市民交流プラザ]

受付(市民遺産研究会)は視聴覚教室(4号館1階)で行います。インフォメーション(連絡事項)等を、最初に行いますので、受付後午後 7 時迄視聴覚教室に待機してください。

市民遺産研究会(4号館1階、4401 視聴覚教室)

8 月例会の話で決めた調査ブロック(エリア)をいろんな角度から決定するために議論し早く決定してゆきたい。

独楽研究会(4号館4階、4103 教室)

1. 吉田氏が研究室での M A X 値のデータで、どう変化したのか？
2. 今の独楽にウイングを付けて回してみる
3. よりバランスのとれた独楽にする為にどうしたらよいか？
4. 大名独楽の販売するには

ひきこもり研究会

(日時:9月18日(木) 午後 7 時より、場所:飯塚市民交流プラザ)

* これまでのまとめ そしてこれからについて

情報発信/データデザイン研究会

(午後 5 時 3 号館 3 階 3304-B:情報工房)

- ・近畿大学の美術部と共同した、Web サイトのデザインの決定
- ・Web サイトのコーディングと、文章、写真などのコンテンツの作成または依頼の計画立て
(前日までに pdd 研 chikuzemi.pdd@gmail.com 宛に了解をとって頂ければ、参加できます。)

筑豊ゼミ・研究会報告

市民遺産研究会 8月定例研究会

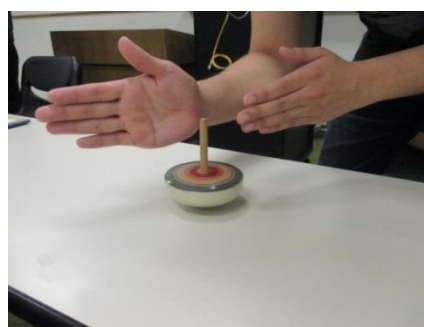
会長 白神 精一

- 1) 出席者が4名と少数だったので、今までの提出の内容を報告確認する。
- 2) 十分な検討することができなかったが、次のことを進めてみてはどの意見があり次のような形で進めることにしてみる。
 - ・ブロックを2～3か所に決めてエリア内の名所旧跡と炭鉱遺産を含めて調べる。
 - ・まとめとしては文章のほか写真や地元の声を入れてみる。
 - ・複数人で調査をして区分けして作業を急ぐことにする。

独楽研究会 8月定例研究会

会長 笹原 泰史

- 1) 参加者が少なかったので実際に回してデーターを取ることが出来なかった。
- 2) 前回、花元館長が回してデーターを取ったのを比べると減少率ほぼ同じでしたが終了時に多少の変化があったことを松崎先生より報告していただきました。
- 3) 今までは吉田氏がデーターを800～700回転の間で測定していましたがMAX値(1400～1500回転)から測定するとどうなるか研究室にてデーターをとる。
- 4) 色々な独楽を回してみる



ひきこもり研究会 8月定例研究会

会長 野田 隆喜

8月28日(木) 午後7時より 午後8時30分 開催

講師 福岡 楠会 世話人 吉村 さん

楠会は ひきこもりの若者を持つ親の会です。主に福岡県内の保護者で組織されていますが活動は当事者・親・おやじ(父)・兄弟・就労と多岐多様に活動を展開されておられます。また大学教員をま招いての勉強会・一般公開の講演会とされておられます 全国組織 NPO 法人 KHJ 親の会所属の団体でもあります。

12年前 この会の立ち上げに奔走されていた吉村さんと会長 野田が旧知であり 今回の講演となりました。吉村さんより「ひきこもりに縁ない方が学んでいただけること感謝します。参加人数は問題ではありません。是非継続下さい」とお礼と激励をいただきました。90分の時間では足りない質疑 12月または1月に再演をとの話になりました。

講師の背景

・親の会所属の親平均年齢70才、息子・娘30後半(吉村さん70才 息子さん40才)

主な質疑や現状の話

- ・親の問題ではありますがすでに社会問題の域にはいっていますが あまり知られていない。
- ・我が息子を例にしていえば、20年近く社会から離れています。社会参加の手だてはありません。
- ・支援する側の姿勢・心持ちに若干上から目線を感じる時があります。また、障がい者としてなら支援はあるが、そうでない場合は支援が非常に狭くなるのが現実です。
- ・親も世代によって全くちがいます 運営上 とまどう事たくさんあり悩みます。

など

情報発信/データデザイン研究会(pdd 研) 8月定例研究会

会員 田中 翔

情報発信/データデザイン研究会(pdd 研)は、近畿大学産業理工学部の学生が、ホームページなどの情報発信媒体を通じて筑豊地域の活性化を図る目的として平成26年に作られた組織です。主な研究内容は、どうすれば筑豊地域の人々に興味を持ってもらえるようなホームページを作れるか、どうすればより効果的に筑豊の良い所を知ってもらえるか、それらを学生がこれまでに得た知識を活用し、実際に形にすることをしています。

[8月の活動内容]

pdd 研は毎週水曜日にメンバーで会議を行っています。今月は筑豊ゼミのワイヤーフレームを実際に作成し、構成のチェックを行いました。(ワイヤーフレームとは、Web ページの大まかな内容や装飾を示した構成図のことです。)

ワイヤーフレーム作成の際に、参考にするため8月6日に菊川運営委員長、筑豊ゼミの方々、美術部の方々とヒアリングを行いました。ワイヤーフレームのサンプルを作成した結果、筑豊ゼミのホームページのトップが下図のようになりました(省略しますが、他のページも作成済み)。



図. 筑豊ゼミトップページのワイヤーフレーム

情報交差点

筑豊での話題やイベント情報を掲載します。予告や結果報告等、皆様からの情報を待っています。

送付先 e-mail : chair@chikuzemi.com(運営委員長) : sec@chikuzemi.com(事務局長)

URL: <http://www.chikuzemi.com/>(筑豊ゼミ)

<http://www.chikuhou-jugaku.org/> (NPO 法人住学協同機構筑豊地域づくりセンター)

地域づくりネットワーク福岡県協議会 会員団体募集

地域づくり団体への情報提供、団体相互の交流推進、自主的・主体的な地域づくりの取組を促進するため、平成6年に福岡県が設置した協議会です。会員団体になるための **登録料も年会費も無料!**

会員になると、①他の地域づくり団体等と交流を通して、新たな気づきのチャンスが生まれます。

②全国の地域づくり団体の情報が掲載された月刊「地域づくり」が送付されます。

③講師等を招聘して開催する研修会等の事業の「謝金」や「旅費」の助成を地域づくり団体全国協議会から受けることができます。

詳しくは、協議会のホームページ、<http://www.chiikinet-fuku.org/> をご覧ください。

入会は簡単、<http://www.chiikinet-fuku.org/new/> から入会申込書がダウンロードできます。

OKANOUE LIVE 2014

筑豊地区のアーティストによるライブの他、ダンス、スケボー、お笑いショーと イベント盛りだくさん。出店も出ますよ。

日時:9月14日(日) 11:00~18:00(10:00 開場)

場所:田川市こがねが丘陸上競技場 (田川市大字伊田 2550 番地 1)

詳しくは: <http://okanouelive.wordpress.com/>

飯塚市歴史資料館 「黒田二十四騎展」

日時:10月23日(木)~12月2日(火) (水曜日休館)

場所:飯塚市歴史資料館 福岡県飯塚市柏の森 959-1

展示資料: ①掛け軸、絵馬等の黒田二十四騎図

②甲冑、武具等の黒田二十四騎関係資料

③鷹取城・黒崎城模型、瓦等六端城関係資料

詳しくは、<http://www.kankou-iizuka.jp/events/48>

NPO 法人住学協同機構筑豊地域づくりセンター
地域づくりセミナー ～「地域連携」大学は地域とどう向き合うか～

近畿大学が、ふるさと再生に燃えて集まった住民と共に「住学協同」を実践する場としての「筑豊ゼミ」創設から 27 年、筑豊の抱える課題も大きく変わりました。

近畿大学では新たな視点からの「地域連携」に応える「近畿大学産業理工学部地域連携研究センター」(略称:「**地域連携研究センター**」)を設立する運びとなりました。

これに合わせた 4 回連続の「地域づくりセミナー」の第 1 回と第 2 回を下記要領で開催致します。筑豊の地域づくりに関心のある多くの皆様のご参加をお待ちしております。

記

第 1 回地域づくりセミナー:日時:9 月 26 日(金) 18 時～

18:00～18:25 **「地域連携研究センター」の設立と地域支援**

荒川 剛 近畿大学産業理工学部 学部長

「地域連携研究センター」設立の経緯と近畿大学が目指す地域連携について

18:30～19:30 **地域未利用建築資源の活用とまちづくり**

井原 徹 近畿大学産業理工学部 建築・デザイン学科 教授

少子高齢化に伴い小学校の廃校などの公共資源の余剰が多く発生しています。

大学・行政・地域の三位一体により、土地・建物等の地域保有資源の活用を推進し、

地域を再生する嘉麻市におけるプロジェクトについて

第 2 回地域づくりセミナー;日時:10 月 10 日(金) 18 時～19 時

再生可能エネルギーと地域活性化をどうつなげるか

日高 健 近畿大学産業理工学部 経営ビジネス学科 教授

東日本大震災以降、再生可能エネルギーに注目が集まっています。再生可能エネルギーは、これまでのエネルギーと違って小規模分散型の供給が行われ、発生地の近辺で消費される、いわゆる地産地消型のものです。このため、地域との結びつきが非常に強くなります。

講演では、飯塚市や嘉麻市などの再生可能エネルギーの存在や利用可能性、市民共同発電所のような市民参加型の活用法について述べます。

講演後、場所を移し、講師を囲んだ交流会を予定しています。

講師の先生と一杯やりながら、筑豊への思いを語り合いませんか？

会場:飯塚市市民交流プラザ(アイタウン2F) セミナー室

主催:NPO 法人住学協同機構筑豊地域づくりセンター

発行: NPO 法人住学協同機構筑豊地域づくりセンター 第 27 期筑豊ゼミ

責任者: 第 27 期筑豊ゼミ運営委員長 菊川 清

編集者: 第 27 期筑豊ゼミ運営委員会事務局長 主税 洋三

住所: 〒820-8555 飯塚市柏の森 11-6 近畿大学産業理工学部気付 第 27 期筑豊ゼミ

連絡先: 090-9485-5985 (運営委員長 菊川) 090-8624-2886 (事務局長 主税)

e-mail: chair@chikuzemi.com (運営委員長) sec@chikuzemi.com (事務局長)